

開催報告 第13回 トキと人の共生を目指した

水辺づくり座談会



開催日時：2014年2月27日(木)19:00～21:30

場 所：トキ交流会館 大ホール

参加者：一般19名、事務局10名

座談会進行役：関島恒夫(新潟大学大学院・准教授)

天王川中流部整備後の維持管理・利活用について話し合いました

今回の座談会は、以下の事項について説明し、天王川中流部整備後の維持管理内容、役割分担、しくみづくりを中心に話し合いました。

- ①これまでの振り返り
- ②中流部整備後の維持管理内容（事務局案）
- ③佐渡島内における維持管理（ボランティア）事例
【久知河内ホテルの会】

話し合いでは、参加者の皆さんからたくさんのご意見をいただきました。

維持管理の基本的な考え方についての話し合いでは、「『地域住民』として誰が参加するのか明確になっていない」、「地域住民等がどのように活用するか、関係する人達で考えることが重要」などの意見が挙げられました。

今回の話し合いでは、以下の事項を話し合いました。

第13回座談会で話し合ったこと

- 天王川中流部整備後の維持管理を地域が主体となって県がサポートするというしくみのためには、地域としてモチベーションを一本化して目的意識・動機付けを明確にする必要があり、そのためには地域として天王川をどのようにしていくのかを考える必要があることを確認しました。
- 今後の座談会では、より多くの関係者に集まっていただき、天王川の将来構想について話し合い、その上で維持管理・利活用の内容やしくみづくりについて意見交換を行う。



座談会での話し合いの様子



久知河内ホテルの会代表者による説明の様子

問い合わせ先 新潟県 佐渡地域振興局 地域整備部 担当 計画調整課 波塚、藤田

TEL : 0259-74-4040 FAX : 0259-74-2048 Email : ngt111140@pref.niigata.lg.jp

座談会でいただいた意見の整理について

維持管理活動の基本的な考え方として、県・市・地域の3者が連携して取り組むということについて、参加者の皆さんの考えを番号札で回答いただき、その後、具体的な意見交換を行いました。

回答結果は以下のとおりです。

【質問】維持管理活動の基本的な考え方について

- ①よい…………… 3人
- ②わるい…………… 5人
- ③わからない…10人



番号札による意見確認の様子

意見交換で数多くいただいた意見からいくつかを以下に紹介します。

【維持管理の基本的な考え方について】（県・市・地域による3者連携）

- ・我々の会の維持活動では大変苦勞している。隣接する3地域の住民全員で協力していく意気込みが必要である。
- ・協働で取り組むという方向性はよいが、基本は県が責任をもって取り組んでほしい。地域住民が県・市と同列に位置づけられるかは疑問である。
- ・「地域住民」として誰が参加するのか、明確になっていない。
- ・天王川中流部については、整備・維持管理は県が担当と考え主体的に捉えていなかった。地域の人達がどのように活用するのか、使うために誰がどのように管理するのか、関係する人達で考えていくことが重要だと思う。

【今後の話し合いの進め方について】

- ・久知河内ホテルの会は地域住民が皆出席し、この地域をどうしていったらよいかという根底の部分を話し合った。根底のところから話を始めていくことが大事である。
- ・新穂湯上ではトキとの共生はすでに始まっている。今後、天王川がどのような役割を果たすべきかを考えていく必要がある。
- ・地域の人達は天王川と関わりがあまりない。中流部整備箇所による地域への利点がわかると身近に感じるかもしれない。本日は新穂湯上の住民が多いが、流域の他地区とも話をしていく必要がある。
- ・将来を担う小中学生にも意見を聞き、当事者意識を持ってもらうことが重要である。

【中流部整備について】

- ・親水利用に関する意見を反映して計画づくりを行ってほしい。
- ・子供たちが安全に利活用できるように整備してほしい。

今後の座談会について

今後の座談会では、より多くの関係者に集まっていただき、天王川の将来構想について話し合い、その上で維持管理・利活用の内容やしくみづくりについて意見交換を行います。